

# 2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 14日

所属	商経学部	職名	准教授	氏名	越川 靖子
研究課題	音の影響と取得情報の関係				
研究キーワード	ブランドネーム、選好	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	8.働きがいも経済成長も	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	
<p><b>1. 研究成果の概要</b></p> <p>本研究課題から名称と内容を改善した。提出した科研費調書のうち主に日本語の音象徴（各言語音の持つイメージ）に焦点を当て、深めたものとした。その結果、科研費・基盤研究（C）に採択されることとなった。「音楽」と「音象徴（日本語）」は自身の研究における2つの核であり、両者ともに科研費を採択でき研究を深化することができる機会を頂けたことは大変喜ばしく光栄なことではある。しかしながら、2021年度は体調問題および新環境もあり、思うように研究を進めることができなかったことが残念である。一方、2021年度は自身の研究の一部であり以前取得した科研費とも関連のある音楽産業のマーケティング史について研究を進めることができた。本分野はまだ研究者が手をつけていない未開拓の領域であり、文献は少ないもののやりがいのあるものといえる。</p> <p><b>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</b></p> <p>【論文（査読あり）】 なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】 なし</p> <p>【学会発表等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「音楽業界の動向と考察-レコード会社と搾取と権利のはざままで-」、マーケティング史研究会、2021年11月27日、ZOOM オンライン</li> <li>・「日本大衆音楽とレコード会社の一考察」、地域デザイン学会 全国合同地域部会第2回研究会、2022年1月22日、ZOOM オンライン</li> <li>・「日本音楽における発展とプロモーションの変遷に関する歴史的考察」、日本経営診断学会第2回関東・東北部会、2022年1月29日、ZOOM オンライン</li> </ul> <p><b>3. 主な経費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリコン年鑑（オリコンが統計をとり始めて以来）および音楽産業・市場に関わる文献を購入した。</li> </ul> <p><b>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</b></p> <p>【科学研究費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤研究（C）令和4年度～令和7年度、代表者、課題名「五十音音象徴の体系化への挑戦」（22K01767）</li> </ul> <p style="text-align: right;">（本文は2ページ以内にまとめること）</p>					